

ドイツ産業の統制現狀

(日本鐵鋼協會第 20 回講演大會通俗講演 昭和 13 年 10 月 16 日於大阪中央電氣俱樂部)

貴族院議員
海軍造兵中將
工學博士

伍 堂 卓 雄

只今は澁澤君から我國製鐵事業の現狀を具さに伺ひまして、私としましては非常に得る處があつたのでございます。私は今夕は只今御紹介になりました通り、ドイツの産業統制を主眼としてお話ししたいと思います。

歐洲大戰に依て慘々の憂目を見ましたドイツは、賠償委員會の決議に依りまして 1,320 億金マークの債務を背負たのであります。斯る巨額な賠償が不可能なことは初めから判て居るべきで、從て聯合國側が段々冷靜になつて参りますると、迎もドイツにこんな負擔を課することは無理であると云ふ譯から、1924 年、御承知の通りドーズ案が成立致しまして、それに依て年々 25 億金マークを分割して納むる義務を課することとなり、更に其の後ヤング案に依て 20 億金マークに改められたのであります。然しこの債務を果させしめる爲には外國から資金を貸與してドイツの産業を振興させなければならぬ。此處に於てアメリカその他から多額の産業資金が融通されたのであります。1929 年に起りました世界的パニックの爲に遂に此の融資を繼續することが出来なくなり、外資の輸入が杜絶した結果ドイツの産業は忽ち不振に陥入り、多數の失業者を生じ、農村は疲弊し思想は混亂し、其他色々の難問題が續出致しまして、歴代の内閣も事態收拾の道なく相次で短命に終りまして、遂に起たのが 1933 年 1 月のヒットラー内閣であります。從てナチスが政權獲得と同時に直面致しました各問題は失業難、農村難、思想難、國防難、財政難等の解決であります。これが爲にドイツは第 1 次 4 ヶ年計畫を樹て失業難を解決する爲には諸種の土木事業を起し、生産力の擴充を行ひ、農村對策と致しましては主として労働奉仕團の手に依て耕地の擴大に努め、思想統一の爲には應急對策として勞資摩擦の一掃の爲に從來からの勞資機關の統一を企て、單一綜合機關たるドイツ・アルバイト・フロント(勤勞戰線)を組織又今後のドイツを負ふべき青少年男女に對する恆久對策と致しまして、從來からあつた種々の青年運動を只今日本に來て居りますヒットラー・

ユーゲントの組織に改むると共に、一方労働奉仕團の新制度を設け、國防の缺陷は國際會議に於てドイツ發言權が常に一蹴さるる事實に鑑みましてラインへの進軍を敢行し又ベルサイユ條約を破棄して自ら必要と認むる國防を充實することに努めたのであります。最も重要な問題は財政難の解決であります。之に對しましては、當時國の内外に於て最も信望の高かつた、時の中央銀行の總裁シャハト博士を起用して經濟大臣としたのであります。其處でシャハトは氏の懷抱して居りました新計畫經濟の實行に移たのであります。此の新計畫經濟の重點が何處にあるのかと申しますと私が 3 年前シャハト氏に會ひました時に、貴方の經濟大臣としての政策の重點は何れにありますかと云ふ質問に對し「自分は政策の重點を原料自給に置き又爲替逃出を防止する爲今年以後は斷じて入超を許さない」と、斯う云ふことを云たのであります。即ち言葉を換へて申しまするとシャハト氏の經濟政策即ちニュープランの重點は爲替管理と貿易統制にあつたのであります。然らば此の重要な爲替管理を誰にやらせたかと申しますると、其の前身が穀類のブローカーであつたヴォルターと云ふ人でありました。此人は商買上滿洲や日本へも來たことがある人でありましてシャハト氏は太西洋上の船中で其才幹を見抜きまして自分が經濟大臣となりニュープランを實行するに當りまして、爲替管理局長に起用致したのであります。又、此のヴォルター氏の計畫に依りまして爲替管理局と關聯する物資統制を行ふ物資管理所が出来たのであります。當初其數は少かつたのであります。今日では全國に 28 ヶ所設けられて居ります。

之は資料が少し古いのでありまして 25 しかありませんが、御參考の爲にどう云ふやうな物資管理所が設けられて居るかとお申上げますと、

1. 穀物飼料(即ち家畜の飼料)其他農産物
2. 動物及び畜産品
3. 乳産品、油類、脂肪類

4. 卵類其の他嗜好品管理所
5. 木材及び植物管理所
6. 蔬菜、飲料水及び其の他食料品管理所
7. 羊毛及び其の他獣毛類管理所
8. 棉花管理所
9. 綿絲及び紡績、紡織品管理所
10. 絹、人絹及び衣服類管理所
11. 麻類、纖維管理所
12. 貴金屬管理所
13. 鐵及び鋼管理所
14. 工業用脂肪供給管理所
15. 皮革管理所
16. ゴム及び石綿管理所
17. 油煙管理所
18. 礦油管理所
19. 煙草管理所
20. 化學製品管理所
21. 石炭及び鹽管理所
22. 毛皮管理所
23. 紙類管理所
24. 美術工藝製品管理所
25. 其の他各種製品管理所

となつて居りますが、此の第 25 が更に細別されて今日の 28 になつたのであります。之等は皆獨立の管理所で、全國適當地點に配置されて居るのであります。此の管理所の機能は

1. 各物資管理所はそれぞれ所管物資の輸入に付き政府の爲替管理局に代り規定せられたる範圍に於て、輸入商に對し外資爲替支拂ひを受くるの許可を與へるの權能を有す。之に基き爲替許可證を發給す。輸入商は物資輸入の際之を税關に提示し、又之に依り外貨爲替の支拂ひを受くるものとす。
2. 許可證の發給を受けざる物資の輸入は禁ぜられ居らざるも申告することを要す、但し斯る物資に對する外貨爲替支拂を保障されず、又生産協定國の物資も亦一般輸入品と同様前記爲替許可證を必要とす。
3. 許可證は輸入商に對して發給す。抑々爲替許可は公定消費者、即ち加工者の實利を調査したる上附與する方針なるも、輸入品に對しては商業上輸入業者の介入を利益とするを以て、原則として輸入業者に附與せられる譯なり。但し直接輸入をなし來れる加工業者、消

費者も亦許可證發給の申請をなし得る。

4. 許可證の賣買を許さず、許可證は記名式にて、又取引業者及び取引關係事項を記載せしめる。
5. 許可證は主として現在まで一般又は特定許可を以て輸入をなし來れる輸入商に與へる方針なり。許可證の發給を受くる物資の種類及び高は時々關係廳に依り決定せらるるも特別輸入商品、生産用原料は優先し、又再輸出の半成品の輸入に對しては許可證を附與す。又即時支拂を要する輸入品よりも、ドイツに有利なる支拂ひ證券、即ち長期のものを有する取引に對し與へる方針なり。

それから物資管理所設立に關する法規及び組織であります。物資管理に關する省令で斯う云ふことを發布して居るのであります。

1. 經濟大臣に物資取引に關する監督權を附與す。之は即ち特に物資の仕入、分配、貯藏、供給及び消費に關する監督權實施を意味するものなり。
2. 經濟大臣は前記監督權實施の爲必要の規定を設くることを得。例へば取引の定款を示す書類の作成、即ち帳簿検査に關する規定の如し。
3. 經濟大臣は前記の權限の全部、又は一部を適當の機關に委任することを得。之が爲、經濟大臣は物資管理所を設くることを得。
4. 物資管理所は獨立の法人なり。財的には國家豫算より獨立し、全然自營を旨とす。それ故其取扱ふ事務に付ては手数料を徴収する。

といふやうなことで、これは日本と全く違て居る。日本の之は物資調整局に當るのであります。ドイツの物資管理所は 28 に分れて居て、其の經費は全然獨立の法人であつて、其の所長は政府が任命するけれども、經費は産業人が負擔するのであります。即ち手数料を取てそれに依て賄ふ、私が見ましたのはベルリンの化學品の物資管理所であります。非常に龍大な機關で、使用人は 500 人以上であります。さう云ふのが全國に 28 ケ所もあるのであります。さうしてそれは國の豫算には關係ない所謂自營的のもので、政府が任命した所長に依て管理されて居るのであります。政府は

1. 物資管理所に對しては所長を任命す。同係員は一名又は數名の代理人を任命することを得。又同係員は諮問機關を設くることを得。諮問機關の各員は名譽職とす。

斯様に獨立の法人で、金の迷惑を政府にはかけない、併し其の所長は政府が適當な人を任命する、而も其の所長は主として民間の實際家を任用するのであります。此の如く一方には民間から出て貿易上のことは隅から隅まで知て居る、前身為穀類のブローカーであつた人を爲替管理局長にし、又一方物資管理所の所長は政府が任命するけれども、それは實際の事情に通じた者でなければならぬ、而も其の管理所を運営する處の經費は民間から之を徴収する手数料に依て賄ふ。斯う云ふやり方でありませぬが今日の日本の現状とは非常に違つて居ると云ふことを先づ頭に置いて置きたいのであります、其處でどう云ふことを此の爲替管理局と物資管理所がやるかと云ふと、爲替管理局は次の1期(1年を4期に分つ、1期は3ヶ月)間にドイツへ入て來る爲替の額を出来るだけ正確に推定するのであります、その爲めには輸出商が輸出をする毎に契約の寫と、必要な事項の明細書とを爲替管理局へ提出せしめる。爲替管理局は此書類に基いて其の納期と爲替の入り方に付て積極的に始終監督をして居る、納期が近寄て來ると、確に其の納期に渡すこと出来るか、さうして此の爲替は外國でそれを流用することがなしに確に國內に入るかと云ふことを始終監督をして居りますから、それに依て殆ど正確な次の3ヶ月間に入て來る爲替の額が分るのでありまして、それを基礎として28の管理所に品種に應じて爲替の割當てを行ふのであります。各管理所に於ては其の割當てられた額を又自分の處で關係して居る輸入業者、之に品種毎に一つのカードを作て通告するのであります。其の各人、或は各團體に對しての割當は何に依て行ふかと云ふと、當人の申請と前期の成績に依て定めるのであります。處で割當てられた各人、或は各商社は3ヶ月間は其の初めの許可證だけで輸入出来るかと云ふとさうではないのであります、其の物資がドイツ國內に不足であると云ふことが分ると、外國の取引業者が其の價格を吊り上げる惧があるのでありますから、物資管理所は常に外國市場に於ける其の物資價格を始終狙て居りまして、其の價格と附屬費用を加へたものでなければ輸入を許さない。而もそれは其の價格に應ずる品質のものでなければ輸入を許させぬから外國取引人もドイツの特殊事情に依て無闇な價格の吊り上げは出来ないこととして居りますのでありますから例へば初め總括的に100tと云ふ割當てを得て居ても、それを分割して賣ります時には25tなら25tに對しての許可を其の都度得なければならぬ、私は管理所に參りまして斯う云ふや

り方をして居ても賣惜みとか買溜めなどがありはしないかと聞いて見ましたが、絶対にさう云ふことはないと云て居りました。之は非常に細かい調査をして居る點もありませう。又犯す者に對する嚴罰主義の故でもありませう。統制を犯す者に對する政府の處罰は非常に嚴格でありまして、體刑若しくは無制限の罰金となつて居ります。一例を上げて見ますと私共が居りました時にライン地方の或る果物商が林檎を少しばかり公定價格より高く賣たと云ふ其の極く小さな違反の爲に2萬マークか3萬マークかの罰金に處せられた。逆も其多額の罰金を納める譯には行きませぬから體刑に會たと云ふことで、處罰は非常に嚴重であります。さう云ふ行き方でありまして、此の爲替管理局と物資管理所が各々其主腦者として其道の達人、玄人筋の者を簡拔採用して居るのでありますから、此の間の運用が極めて能く行て居るのであります。

第1次4ヶ年計畫の實績を簡単に申しますると、今年の2月20日臨時議會に於てヒトラーが國民に報告をしました演説の中の主なる數字を申し上げますと、1932年即ちナチス政權になります前年には國民の所得が452億マークであつたのが、昨年は680億マーク、5割増へて居りますそれに對して生活費の指數は32年に120.6であつたのが125.1と僅かに4歩しか増へてない此處に物價管理の成績が現はれて居ります。工業生産は32年の378億マークが昨年は2倍となつて750億マークとなつて居ります。小賣の賣上高は32年の218億マークが37年は310億マーク、農業生産は32年の87億マーク、此の時の自給率が75%、之が昨年は120億マークに激増し、其の自給率は81%になつて居ります。それから國內河川の運輸量、ドイツは御承知の通り國內には多數の川及び運河がありますから、河川の運輸は非常に盛んでありますが、その運輸量が32年には7,350萬tであつたのが、昨年は1億3,000萬tに増へて居る。海運は32年の3,600萬tが6,100萬tとなり、各種重工業の綜合成績とも見るべき造船の注文高が、32年の終りには僅かに2萬2,000tしかなかつた。それが昨年の終りは112萬tに激増して居ります、失業者の數は650萬から47萬人に減り、貿易は先に申しました通りシャハト氏は今年以降は絶対に入超は許さないと云た1935年は1934年の入超2億8,400萬マークに對して出超1億1,000萬マークとなり36年は一躍して5億5,000萬マークに増へて居ります。國民の政府に對する信頼の表象とも云ふべき國民の貯蓄は、32年は

114億マークであったのが昨年は161億マークになつて居る。國の歳入は32年の66億マークが140億マーク激増して居ります。斯う云ふ異常な躍進振りを見せた國は世界中にはないのであります。即ち第1次の4ヶ年計畫は完全に成功したと申さなければならぬ。

其處で1936年9月ミュンヘンに於けるナチス黨の大會に於きましてヒットラー總統は第2次の4ヶ年計畫を發表致しました。其の時に行ひました演説の中に、ヒットラーはドイツの化學工業、機械工業、並に採鑛冶金學工業の技術に於て處理し得る一切の原料を自給するのが此の計畫の目標である。此の難事業を達成するには國民の總努力に俟たなければならぬ、斯う云ふことを云つて居ります。さうして之が總指揮官として即ち今日の4ヶ年計畫部の長官として閣僚の中でも最も有力なる副總統格の航空大臣ゲーリング將軍を兼任せしめたのであります。本來ならば第1次の4ヶ年計畫で殊勳を現はしました經濟大臣のシャハト氏を充當すべきでありますが、ゲーリング氏の登場を見るに至る理由として二つの見方があります。一つはドイツの經濟の基礎は既にシャハト氏に依て確立したのであるから、第2次4ヶ年計畫の如き國民の總努力に俟たなければならぬやうな大事業は、エキスパートよりも寧ろ貫目のある者が宜しい。即ち腕の人よりも力の人の方が宜いのだと云ふことと、もう一つは黨外の人ではいけない、黨人を以てしなければならぬと云ふことであります。そこでシャハト氏をやめてフンクに代へたのであります。

第2次4ヶ年計畫の目標は食糧、原料の自給であります。之が爲め全産業を計畫産業と非計畫産業とに分けて、計畫産業に屬するものに一定の自給率を決めて4ヶ年を期して之が實行を圖て居るのであります。其の中でも最も力を入れて居りますのは非常時に於て必要なる食糧、原料の自給であります。其の他の原料に付きましては色々の事情から其の率が變て居ります。自給は出来ぬことはいけれども非常に不經濟になるものがあります。而もそれは非常時に必ずしもなければならぬといふものではないと云ふやうなもの、又通商上の關係即ち今日ドイツは多くの國と生産協定をやつて居りますが、賣る爲には買つてやらなければならぬ例へば最近に出来ました滿獨協定に於きましてドイツは滿洲がドイツから買ふ額の4倍買はなければならぬことになつて居ります。日本とドイツとは紳士協定によつて比率は其の逆となつて居りま

するが、過去に於きましては滿洲からの買方は大してなかつたのであります。段々多くなつて今日では2,500萬圓に達して來たのでどうしても滿洲から1億圓の大豆類を買はなければならぬ。處がそれは却々ドイツの財政にとっては苦しいと云ふので現在滿洲に於て輸入を禁じて居る品種例へば寫眞機械等の輸入を認めないかと云ふやうな交渉までも行はれて居るのであります。同様の筆法で今日ベルリンの化粧品店でパリーの香水を買ふことも出来、其の他外國の贅澤品が容易に手に入れられるのであります。其處で此の原料、食糧の自給關係がどうなつて居るかと申しますと、昨37年度の實例に依て見ますと昨年の貿易總額は只今申しました通りに114億でありまして其の中輸入額は55億マークであります。此の55億マークの63%が原料、23%が食糧、残る14%が完成品に對して拂た金であります。55億の63%が輸入原料でありますから之が自給されるといふことはドイツ財政上に非常な影響を與へるのであります。

此の第2次4ヶ年計畫の實行方法と致しましては第1に國內資源の開發であります。ドイツのやうな比較的面積の狭い而も科學の非常に進んで居る國では最早や殘されて居る資源はなさうに思はれるのでありますけれども、併し科學的に探究を續けてゐる中に矢張り新しく次から次へと資源が発見されるのであります。最も著しい例はベルリンとハノーバーの中間のザルツギッターと云ふ處で地下800mに於て一大鐵鑛床を発見したのであります。斯う云ふことは一寸日本では考へられない。大體に於て鑛床は露頭を見つけてそれから掘り進めて行くのであります。スエーデン邊りには随分深く掘た鐵鑛區がありますけれども併しそれは漸次掘り下げて深くなつたのであります。科學的確信によるのでありませうが800mの深部に於て一大鐵鑛床を見つけたと云ふことは如何にドイツが資源の開發の爲に努めて居るかと云ふことを示すものであります。今日ドイツに行はれて居ります資源開發上最も有力な法律は鑛物資源開發法で、此の鑛物資源開發法は鑛業權所有者にしてその權利を眠らせたり、又投機の目的を以て着手しない者に開發を強制するのであります。之が非常に有効に運用されて居ります。日本でも随分其の例があります。權利を持てさうして之を投機の目的から開發をしないさう云ふことをさせないやうにするのが此の鑛物資源開發法の目的であります。第二は國產資源の強制使用で

あります。不経済でも國産品を使へその代り政府は損失を補償してやると云ふ行き方でありませぬ。例へば今日人造石油事業が非常な躍進振りをして居りますが、それは關稅保護があるからであります。ガソリンの關稅は 22 割で、冲着値段が 100 マークに對して 22 割、即ち 220 マークの關稅がかゝつて、國內に於ける市價は 320 マークとなつて居る。それでこそ初めて事業が危げなしに行はれるのであります。又鐵に付ても其の通り日本と同じく國內に鐵の資源に乏しい。先刻澁澤さんは日本の鐵鑛供給に困らないことに付て私が裏書するであらうと云はれましたが、私は必ずしも裏書しない。勿論それは非常時のことを云つて居るのであります。今日のやうに國際經濟の封鎖主義が一般に行はれる間は、どうしても國內資源を利用しなければなりません。獨逸でも日本と同じく鐵鑛に恵まれて居ませぬから貧鑛でも我慢して使はなければならぬと云ふ意味で貧鑛の強制使用を行つて居るのであり其爲に 1934 年には 200 萬噸の國産貧鑛を前年度の銑鐵生産高に應じて各製鐵所に割當てゝ使用を命じたのであります。當時は貧鑛處理法をやつて居る處もやつて居ない處もありましたが、やつてない處では已むを得ませんから非常に品質の良い富鑛を混ぜて熔鑛爐作業に適するやうにしなければならぬ。これは非常に無理であつたので、従て 200 萬噸の豫定量を消化させる譯には行かなかつたのであります。今日では此の 200 萬噸がこなせるやうになつた。此の鐵の問題に付ては後からも少し詳しく申し上げます。

其の次は消費の節約であります。元來ドイツ人程消費節約に優れて居る國民は他に類がないのであります。それが今日では一層徹底して行はれてゐる。「消費節約は家庭から」斯う云ふ標語の下に一般家庭が消費節約の爲に非常な努力を致して居ります。私の親戚の者がベルリンの銀座とも稱すべきウンターデンリンデンの往復 20 町餘を歩いて見たところハイヒールの婦人には 2 人しか出會はさなかつた。婦人の服装もいゝ着物を着ようと思へば出來ないことはない、だが小ざつぱりした實に地味なものを選び、ハイヒールの靴を穿いたり、又化粧でもして居る者は魔性の者と見ても宜しいと云ふやうなことが常識となつて居ります。又近頃紙のカラーが流行ります。我々がやつて居りますやうなカラーが紙で出來て居る。之は洗濯賃を出すよりも 2 日もかけて棄てるなら其の方が經濟だと云ふ意味で用ひられて居ります。其の他消費節約の實例を挙げたら切りがありません。兎に角ドイツ國民は消費節約の點に於て

は世界に眞似手のない程徹底して居ると云ふことを申し上げて置きます。

其の次は廢物の回收利用であります。之を工場に付て申しますると、スクラップの溜め方が極めて上手に整理されて居る。金屬の品種別にスクラップを分溜することは何處でもやつて居りますが、其の外に輸入原料と國産原料とに分けて之を分溜をして居る。又家庭の廢物の分溜は極めて完全に行はれて居りまして、何處の家でも少くとも三つの塵溜を備へて居る。一つの塵溜には再製の出來ますもの、ゴムの屑とか布の屑とか云々やうなもの、一つの塵溜には家畜の餌料に出來るやうな臺所の芥、一つには全然役に立たないと認められる芥、さう云ふ風に分けて居りますが、此の整理の監督を誰がやつて居るかと申しますると、ヒトラー・ユーゲント 又ナチス黨の突撃隊員であります。11~2 歳の子供に指摘されるやうでは家庭の恥辱であると云ふので非常に注意して分溜すると云ふことであります。

其の次は代用品、合成品の研究應用であります。之はもう申すまでもなくドイツと云へば直ぐに合成品と云ふことが頭に浮んで來る。凡そ今日合成品と名の付いて居る物で殆どドイツに其の端を發しないものはないと云つても宜い位であります。人造纖維、人造石油、人造ゴム、人造樹脂、總て之等はドイツに於て發明されたものであります。主なる品種の自給計畫に付て申し上げますと第一は食糧であります。食糧の自給率は昨年は 81% であつた。其處で之を 4 年計畫を以て 100% にしようと思ふことになつて居りますが、其の爲には色々の代用品が考へられてゐる。例へば今日食糧の中で最も困つて居りますのは鶏卵とバターであります。之等の代用品が色々考へられて居ります。例へば極く安價な魚肉を使って卵の代用品を拵へることに成功して居る。魚肉 30 lb を使って 1 lb の卵に相當するものが出來ると云ふことであります。又バターの代用品も色々出來て居ります。此の卵は何處から輸入するかと云ふと其の大部分は支那からであります。獨支貿易の將來に付て憂へて居るのは卵の輸入に困ると云ふことも其の一であります。非常に多量の卵が支那から輸入されて居るのであります。昨年度は恐らく 1,400 萬マーク位の卵を支那から輸入して居ります。食糧の自給は主として耕地擴大に依つてこれを行はうとして居ります。この耕地擴大は勞働奉仕團の手に依つて行はれて居ります。ドイツは比較的平地が多いのでありますけれども一面河川湖沼の多い關係から耕作に

適せずとして打ちやっつてあつた濕地が600萬町歩に達して居て、之を開墾することは普通の經濟觀念からは出来なかつたのであります。勞働奉仕團はこれに手をつけて居るので普通の經濟觀念に依て行はれるものを勞働奉仕團がやれば茲に職業労働者を脅やかすことになるのでありますからさうでないやうなものを選んだ處が幸ひ此處に600萬町歩の荒蕪地がある然も之を開墾すれば食糧政策に寄與する處が多いと云ふので取掛たのであります。既に過去3ケ年間に此の勞働奉仕團の手に依て開墾された地積が25萬町歩に及んで居ります。併し逆も此の3ケ年に25萬町歩の程度では毎年4,50萬宛増し行くドイツの人口に對してすらも足らない、でありますから之を補足する爲めに色々の食糧代用品が研究されて居るのであります。

其次は油脂であります。此の油脂の自給率は現在約50%、滿洲大豆は其中の主なるものであります。之を出來るだけ代用品を以て節約しようと致して居ります。其中最も注目に値ひするものは人造石油工業が盛んになりますとそれがイーゲー法であつてもフィッシャー法であつても副産物としてパラフィンが澤山出來るのであります。此のパラフィンから合成脂肪酸を作てそれに依て石鹼を作り、輸入油脂の中で大きい部分を占めて居る石鹼の材料の節約を計て居ることです。此の合成脂肪酸に依る石鹼は此の頃盛んに市中に出で居ります。其の包み紙の表にミット・フェット・アウス・コーレ「石炭から作た脂肪を用ゐて」と書いてあります。即ち石炭から石鹼が出来るのだと云ふ意味であります。滿洲大豆の強敵と云ふのは今日の處ではありませんが、將來性のあるものの中では印度の落花生、ルーマニヤの大豆等があります。ルーマニヤは土質が悪く、大豆を作る爲には特殊の肥料が要る、それをドイツから輸入し、出來た大豆をドイツへ輸出して居る。最近年に3萬噸か4萬噸出して居りますから現在滿洲大豆の敵ではありませんが、將來性はあると思はれるのであります。

其の次は液體燃料であります。昨年度の總需要が615萬噸、之に對して自給量が270萬噸、其中中輕油の需要量が280萬噸、それに對して自給量が160萬噸、更に此の中からガソリンだけを申しますと需要の200萬噸に對して自給が88萬噸、之を1933年に較べると隔世の觀がある。ガソリンだけに付て申しますと1933年の需要量120萬噸に對して僅かに17萬噸しか自給して居りません。その後

何うして自給量を殖やしたかと云ふと天然油田の開発も與かつて力がありますが、大部分は人造石油事業に依つたものであります。即ち油に關し第1次4ケ年計畫では人造石油工業即ちイーゲー法(水素添加法)フィッシャー法(合成法)、低溫乾溜法の三つに依て出れる丈多量のガソリン生産を計たのであります。大體此の人造石油法はナチス以前に實驗は完全に終て居りまして工業化するばかりになつて居つた。それをナチスになりまして直に工業化して出來るだけ澤山のガソリンを拵へることに努力したのであります。斯の如く人造石油事業が発達致しましたのも前に申しました關稅政策の結果であります。獨逸には只今申しました三つの液化方法の他に色々の新しい考案がありますけれども、現在では此の三つに集約して居ります。此の三方法の優劣に付きましては色々意見がありますが、私が調べて見ました結果と、獨逸の斯界の玄人筋の意見を綜合して見ますと、イーゲー式水素添加法、フィッシャー式合成法、低溫乾溜法の三つの方法の選擇の基準は色々の事情に基くのであります。第一には石炭の品質、即ち灰分が多いとか少いか云ふ點、又附近の工業事情、即ち之等との連絡に依て副産物の利用其他が考へられるのであります。其の環境に依ることが一つの條件、次は要求品位に對する考慮、最も品位の高いのはイーゲー法であります。高級品位が固執されれば他の方法に依ると或は不利益になるかも知りません、次は生産費であります。生産費を構成致しますものは建設費と、原料石炭の消費量と、それから作業費、此の三つであります。建設費に付て申しますと、之は極く標準的の設備に付て比較したのであります。ガソリン1噸當りに對して申しますと水素添加法に依るものは年産1噸當りの建設費が650マークから800マーク、合成法に依るものは500マークから700マーク、低溫乾溜法に依るものは、500マークから600マーク、即ち建設費だけの比較では、低溫乾溜法が一番安くて合成法が其の次になり、水素添加法が一番高いのであります。ガソリン1kg當りの石炭消費量に付て申しますと、水素添加法は6kg合成法は8kg低溫乾溜法は5.7kg要るのであります。作業費は分らない。そこで判ただけの條件から見ますとコストと致しましては一番低溫乾溜法が安いので水素添加法と合成法は似たり寄たりで、石炭消費量は水素添加法が安い、建設費は合成法の方が安いと云ふことになります。低溫乾溜法に依たものが何故一番安いかと云ふと、出來た半成炭が相當な價格で

賣れるからでありまして、此の利用がなかつたならば一番高くなるのであります。ドイツに於ける人造石油企業の經濟的目標は利潤を加へた生産原價が、 t 350 マーク以内即ち 100 マークの沖着値段に 220 マークの關稅を加へたもの以内であれば危険はないと云ふのでありますから、液化事業が今日非常な勢ひで勃興して居るのであります。第1次ではガソリンのみに集中したのであります。第2次の4ヶ年計畫に於きましてはガソリンの増産を圖ると共に其の他の副産物、ディーゼル油、燃料油、燈油、減摩油、パラフィン、等の増産が計畫されて居るのであります。それでは此の4ヶ年計畫の完成に依てドイツは全く石油の自給が出来るかと云ふとさうではないのであります。過去5ヶ年の需要は5年倍加の趨勢を辿て居りますから迎もそれに追つくやうに増産することは出来ない。輕油のみに付て申しますと今日 120 萬 t の輸入をして居りますが、其の程度の輸入は 1941 年になつてもしなければならぬ。併し玄人筋の意見に依りますと第3次の4ヶ年計畫に依て初めて完全に石油の自給は出来ることと云て居ります。其處で代用品の問題であります。ガソリンに代る代用燃料としてどう云ふものが用ゐられて居るか、一番將來性があるものは此の頃市中に出て居りますガゾールでありまして、之はフィッシャー法でもイーゲー法でも液化作業の最後に普通の氣壓では液化し得ないガスが残る。それはプロパンとブタンの混合物であります。此のガスをアルカチ、ト法に依て硫黃を抜きオイルウォッシングしたる後蒸餾を行ひ、25 氣壓の下に壓縮しますと液體となります。これを容積 33 kg のポンプに詰める。此の時の氣壓は約 10 氣壓、此のポンプを自動車に積みましてそれに依てガスエンジンを動かしてガソリンの代用にするのであります。之は一昨年は市中に出ました量が約 50,000 t でありまして、將來液化事業が發展するに從て此の量も多くなつて來るのであります。現在は主としてトラクターに使はれて居ります。其の次の代用品は木炭ガス、半成骸炭又は無煙骸炭を用ゆるガスプロデューサーに依る自動車であります。之は其の原料としての條件にターンの出るものはガスクリーニングに困難だからいけない。一番經濟的に宜いのは半成骸炭であると云ふことでもあります。今日實用に供せられて居るトラクターの数は、恐らく 2,000 臺位だらうと思はれます。併し之は軍用としては不適當であります。何故ならば所要原料を戦地で容易に入手することが困難なのと運搬にも不便だからでありま

す。矢張り工場用其の他原料の得安い處に用途が廣まることと思ひます、此のガスプロデューサーが近頃ディーゼル油を節約する爲にディーゼルエンジンに置き換へられる傾向があります。例へばラインを通過するリバーボートでディーゼルエンジンをガスエンジンに置き換へて使つて居るものが多數あります。見た處は非常に綺麗で煙がちつとも出ません。それから是は食糧政策にも關係があるのであります。が、アルコールの混用法であります。前回参りました時、即ち3年前にはガソリン節約の爲にアルコールの混用率は法律によつて1割になつて居た。それが今度行つて見ますと 8.5% に減率されて居りました。それは食糧政策から來て居るので、アルコール製造用としての薯の消費増額が食糧問題に影響するやうになつて來ました爲であります。從て人造石油工業が發達すると共にアルコールの混用は漸次減て行く傾向にあるのであります。

鐵に付て申上げますと、昨年度の生産高は銑鐵の 1,600 萬 t ——鋼塊約 2,000 萬 t であります。其れに對して用ゐた國産鑛石は 850 萬 t であつて、使用鑛石の 75% は輸入に仰いだものであります。鑛石輸入量は鐵鑛石が 2,000 萬 t マンガン鑛が 55 萬 4,000 t スクラップが 251 萬 t 總計 2,370 萬 t で、國産 24.3%、輸入 75.7% の割合になつて居ります。斯の如くドイツは鑛石の自給が出来ないことに於て日本と同じであります。日本の製鐵業よりも非常に有利であるのは製鐵用石炭の心配がない、即ち冶金用コークスに不自由しないと云ふ點であります。

特殊鋼に關係しましたものでは一番困るのはニッケルであります。この點も日本と同じこととありますが、昨年度ニッケルの輸入は 17,650 萬 t であります。これは精鍊の爲に輸入したニッケル鑛石の量であります。金屬ニッケルとしましては昨年度 3,390 t 輸入をして居る。それからもう一つ矢張り特殊鋼原料として困つて居るのはタングステン鑛石であります。これは卵と同じく獨支の貿易に著しく關係があるのでありまして、獨支の貿易は近年著しく躍進しドイツに取ては幾分の出超に移つて來たのであります。

貿易總額は僅かに 3 億 マークにしかないのであります。ドイツが輸入してゐるものの中には國民生活上並に工業上最も必要なものが二つある、それは卵と此のタングステン鑛石であります。卵のことに付ては先刻申しましたが、タングステン鑛石は最も重要で之がなければ双物鋼も出来ない。此の問題に付てはヒットラー自身が私に日獨經

濟協定の必要を述べました時に、『自分の理想は政治的協力と並行して經濟的協力を行ふのにあるのだが、已むを得なければ政治的理想の爲に經濟的犠牲を拂ふことを惜しまない。併し蔣政權の感情を害するが爲に蔣政府の專賣事業であるタングステン鑛が支那から入て來ないことは非常に困る』と云て居ました。1933年にはタングステン鑛石の輸入總量の約7割位が支那から來て居る。主に江西省と廣東省であります。此の如く現下の非常時體制に當り主なる原料が國內から、得られないと云ふことはドイツに取ては非常な悩みである。歐洲戰爭前は御承知の通りにアルサスローレンを持てゐた爲に鐵に就ては少しも不自由がなかつた。然るに大戰の結果此地域をフランスに委讓してしまつた後は鐵鑛に非常に困り主にスペイン又はスエーデンから取てゐたがスペインからは内亂の爲に杜絶した。製鐵國策確立の爲にはどうしても國產鑛石を使はなくてはならぬと云ふので、國內鐵鑛資源の調査と貧鑛の利用に全力を注いで居ります。然るに前に申しましたやうにザルギッターの地下800 mに於て一大鐵鑛に打つかつた。之が富鑛ならば申分ないのであります。が貧鑛である。初め地下約50 mの處で二つのポケットに打つかつた。それから800 mまで掘り下げて大鑛床に到着したのであります。淺部の鑛質は鐵の含有率が35%、深部は25%しかない。さうして此の鑛石は硫黃も2%から3%含んで居りまして、推定鑛量は20億t此の貧鑛のみを使って大規模の製鐵所を起すことを計畫したのであります。處が貧鑛處理法を今日ドイツで工業的に居りますのはクルップだけでありますので同社に交渉したさうですけれども、迎もそんな大規模のものを貧鑛のみを以てやると云ふことは算盤が取れないと云ふので辭退した。其處で政府が取り上げて國營事業としました。之がドイツに於ける唯一の國營工業であります。能くドイツの事情に通ぜぬ人は、ドイツは統制經濟をやつて大抵の事業は國營であると思ふ人があるのであります。がさうではない。之が唯一の國營工業であります。此の製鐵所で採用しようとして居る貧鑛處理法はアメリカ人のブラッサードとドイツ人のパシュケの兩人が殆んど同時に發見した方法なので兩人の名を冠しブラッサード・パシュケ法と云て居りますが、之の方法を時間がありませんから極くかいつまんで申しますと、從來の熔鑛爐に依る所謂富鑛を用ゐて銑鐵を拵へます方法では、鑛石中の硫黃を取る爲に石灰石を加へスラッグを鹽基性にするのでありますから、即ち鹽基性熔解法と、斯う唱へて居るのであります。即ち

CaOとSiO₂の比が1より大きいのであります。處が此のブラッサードの考案は鑛石の中に含んでゐる硫黃を爐外で取るのであります。即ち貧鑛を其の儘熔鑛爐の中へ入れまして、さうして硫黃は打ちやつて置いて爐外でとるのでありますから装入石灰石の量は少しですむ。従てスラッグは鹽基性でなしに酸性、即ちCaOとSiO₂の比が1より小さくなります。而して、鹽基性スラッグの方が酸性スラッグよりも熔解點が高いのであります。言葉を換へて申しますと、酸性法に依てやつたものはスラッグの熔解點が低くつて宜いから、従て爐内の溫度も普通の方法よりも低くつて済む。さうして硫黃は熔銑が取鍋に在る間に曹達で取る。之が爲に普通の方法で貧鑛を熔鑛爐で操作する時よりも、石灰石は勿論コークスも著しく少くて済むのであります。併しながらドイツの貧鑛は滿洲の貧鑛と同じく、非常に珪酸が多いのであります。鑛石中のCaOとSiO₂との割合が $\frac{0.1-0.2}{1}$ になつて居る。此の關係からこの新しい方法は普通の方法で貧鑛を熔鑛爐で作業するのに較べては、石灰石とコークスの使用量が少くて済むのであります。之を普通の鹽基法に依り富鑛を使ふ場合と全部國産を用ふる國營製鐵所でやる酸性法と現在の鹽基性法とを比較して見ますと、銑鐵t當りの石灰石が鹽基性法の場合には105 kgであるのに酸性法では718 kg 7倍を要する。それから装入物中の鐵分回收率は鹽基性法の場合には49.5%であるが鐵分25乃至30%の貧鑛を使ふ酸性法では19%しか回收出來ない。銑鐵t當りのスラッグの量が、鹽基性法は500 kgであるのに對して酸性法は2,630 kg 銑鐵t當りの炭消費量が、鹽基性法の場合には890 kg 酸性法の場合には1,765 kg それから出銑量は鹽基性法の100に對して酸性法が48.3となることは貧鑛だから當然であります。でありますから酸性法を滿洲其の他で採用しようとする場合には貧鑛のみの装入では到底引き合はない。其處でどの程度に混ざるかと云ふことになる。詰り貧鑛を全部選鑛し燒結して用ふるのと、一部は其儘装入して酸性法で操業するのと並に經濟上設備促進上孰れが有利なるやと云ふことに依て決るのであると思ひます。

それからもう一つフランス人のバッセーと云ふ人の方法、之はドイツのザハトレーベン法と略同一であります。之はクルップ法と同じく回轉爐を用ゐてやるのであります。これは一種の直接製鐵法でありまして、獨逸ではパイライトシンターを使って居るのであります。が、大した出銑量ではありません。結局現在ドイツで實用にして居ります

ものは唯クルップのレン法のみであります。レン法に就ては御承知になつて居ると云ふ前提の下に申し上げますと、本法を日本に應用する場合にどうなるか、又滿洲に應用する場合にどうであるか先年私は此のレン法の研究調査に行つたのであります。本法の特徴は、第一には原料石炭に冶金用コークスを使はなくても宜しい、即ちどんな石炭でも宜しいと云ふこと、第二には珪酸分の多い貧鑛、又はチタンを含んで居る砂鐵を立派に使用出来る。第三にはスクラップの代用品が出来る、此の3點であります。ドイツではスクラップにさう困ては居ないのでありますから此のスクラップの代用品と云ふことを餘り重要視してゐません。其處で我々が調査しました頃には、出來た鐵の粒は硫黄の含有量が多過ぎる爲に直にスクラップの代用品にするに云ふことは出來にくい状態にあつたのであります。が今度行て見ますと、それは解決致しまして今日レン爐から出た鐵の粒はスクラップの代用に供して居ります。又此の爐に依てニッケル精鍊が之までよりも容易に出来るやうになつた。過去に於ては一般の原則としまして、ニッケル鑛石は2%以上のニッケルを含んでゐなければ經濟的に精鍊出來ないと云ふことになつて居たのです。處がドイツのニッケル鑛の産地はシレシヤのフランケンスタインで、クルップ社の精鍊工場がありますが2%以上のものは歐洲大戰中掘り盡し終には經濟を無視して1.5%迄のものを使用するに至りましたが戦後これを中止し、鑛石を輸入して事業を續けて居たのであります。レン爐を利用することに依りまして今日では0.8%以上のフランケンスタイン鑛よりニッケル鐵を作つてそれをエッセンの製鋼工場に送りニッケル鋼を作ること成功して居るのであります。スクラップ問題とニッケル問題と一石二鳥の結果を見て居るのであります。我國としましては素より先きに澁澤さんがお話になりました通り、非常時に於ては海軍力を用ゐれば南洋から鐵鑛を持て來られるのではありますけれども、スクラップの輸入に就ては、今日では順調に行て居るが、アメリカに依存してゐるスクラップが或は將來圖らざる原因に依て輸入出來ぬことになるかも知れん。さう云ふ場合も考へなければならぬ。之が一番重大な問題である。スクラップ問題を解決する上に於ても亦鑛石問題を解決する上に於ても亦石炭問題、即ち冶金用石炭でなくても濟む石炭を使って鋼が出来る。或は鋼にならんでも銑鐵位は少くとも出來ると云ふ方法が此處にあるのでありますから、之は既に昭和製鋼所でも三菱鑛業でも亦貧鑛處

理の爲めに採用することに決り、又チタン含有の砂鐵に就ては實驗の結果非常に優良であると云ふことでありますから、一方海外依存と云ふことは相當に續けて行かなければならぬでせうけれども、東亞協同體によつて自給する根本政策を確立する爲め、積極的に應用せらるゝことが國策上最も必要であると私は信するのであります。

ザルツギッターの國營製鐵所は4ヶ年計畫部長官の名を取てゲーリング製鐵所と云て居りますが、今度塊を併合したことに依て同製鐵所の經營は非常に樂になると思ひます。何故かならば、塊國には北方國境にエルツベルグと唱へ昔から非常に良質の鐵鑛を産することを以て有名な所があります。是から少くとも年に200萬t位の富鑛を供給することが出來ると思ひますから、之に依て餘程樂になるのでありませう。ゲーリング製鐵所は完成致しますと400萬tの銑鐵と600萬tの鋼塊とを作るのであります。1940年迄には100萬tの銑鐵と150萬tの鋼塊を作る設備を完成し、1943年に至て400萬tの銑鐵と600萬tの鋼塊生産設備を完成するのであります。完成の曉には1,200tの熔鑛爐が32基一製鐵所に立つ譯であります。さうして其の第1期分即ち100萬tの銑鐵を作る爲に鑛石を掘る量がどの位かと申しますと、約360萬tで、此の爲にアー・エー・ゲー電機會社は二つの大きな捲揚機を建造中で一つの捲揚機に要するパワーが12,000馬力だと云ふことであります。マイニングコストは淺部即ち50mの淺い處から採るものは豫定が1tに對して1マーク80ペニヒ、深部1tに對しては2マーク50ペニヒで濟むと云ふことで、尙建設費の總額は10億マークの豫定であります。

次に紡績原料に付きましては問題は自給率の過少でありまして僅に17%、83%は輸入して居るのであります。之を4ヶ年計畫に於きましては棉花の5割と、それから羊毛の2割を人造纖維を以て置き替へようとするものであります。處が問題はパルプ用材でありまして、之が爲に潤葉樹を利用することが既に一部應用されて居る。其の中顯著なものは樺であります。又、イタリーでは牛乳から羊毛を作ること成功して居りますが、ドイツでは鯨の肉から作ると云ふことに實驗室では成功して居るさうであります。

それから人造ゴムであります。之は約10萬t位去年は輸入したのでありませう。從來は全部海外に依存して居たのであります。第2次4ヶ年計畫では100%の自給を企て居ります。現在ではイー・ゲーの發明にかゝる合成

法に依てブナと稱する人造品が出て参りまして、之は天然ゴムよりも或る目的には却て優良な性質を持って居る。即ち耐油性、耐熱性に於て優れて居るのであります。

輕金屬に付てはマグネシウムとアルミニウムであります。アルミニウムは約1年の需要量が12,3萬tでありませう。處が其の原鑛石ボーキサイドはルーマニヤ其の他の國から輸入して居りましたが今日素より此の輸入を杜絶する譯には行きませんけれども、國産粘土を以て置き換へることが既に之も實驗済みと云ふことであります。マグネシアは世界有數の良質で而も非常に埋藏量の大きいマグネサイトの資源を持って居る澳國を併合しましたことに依て之は全く解決したのであります。

扱以上述べた自給計畫を4ケ年で完成しようと云ふことは却々並大抵のことでは出來ない。即産業界は素より一般國民も凡らゆる努力を拂て居るのであります。果して計畫通りに實行出来るかどうか、先づ客觀的情勢を見ますれば其處に洵に良い基礎條件が備はつて居る。その第一として生産力の擴充と熟練工の養成と云ふことであります。第1次4ケ年計畫には失業救済が重大な問題でありましたが、皮肉にも第2次の4ケ年計畫に於きましては職工が足らなくなった。即ち政府は各事業會社に強制致しまして熟練工の養成を行つて居るのであります。此の養成の方法、又科目等に付ても申上げたら御参考になると思ひますけれども之は端折て置きまして、唯茲に注意すべき點は、各事業會社に於て養成しました熟練工が、卒業後其の會社に留まつて勤務する義務が少しもないと云ふことであります。之は國が各事業會社に命じて養成させたのであるから、其の事業會社の利益の爲に保留してはいかんと云ふことになるのであります。併しさうすると直ぐ疑問が起る。今日の如き職工不足の場合には職工爭奪戰が盛んに行はれるだらふと云うことであります。併しそれはさうならないやうに釘を打てあります。即ちナチスは政權をとるや直に標準賃金の釘づけを行ひました。然しそれは若い職工の賃金が上て行くことを阻止するのではない。假に1時間1マークが標準賃金であつたとすればそれを釘づけにしたのであります。然し賃金を釘づけにしても、物價の向上を其の儘にして置いたならば生活苦を招き労働者から非常な不平が起て來るのですが、それに対しては同時に物價の釘づけをしたのであります。之には労働者は文句はない譯である。國家總動員を以てやらなければならない場合に今日以上に樂をすることは許さないぞ併し生活を今日以上苦しくす

ることは政府の責任であると云ふ考へ方でありまして、でありますから此處にも示しました如く國民の所得が5割も殖へて居るのに、生活費の指數は僅かに4分しか殖へて居ないのであります。それ故に一つの會社の養成所を出た者が、外の會社へ行つてもさう無闇に高い給料を得られないから、矢張り自分を育て、呉れた處に留まつて居る方が宜いと云ふ考へになるのであります。自然に動きがない。餘りに動かないので今度は政府が御承知の通りの法律を出しまして、政府が必要と認める場合には何處へでも配置替へをすることが出来るやうに致したのであります。又一般にドイツは實習と云ふことに重きを置く。その爲め商業徒弟と雖も工業徒弟同様の實習をさせる。何處の事業會社でも工業徒弟と同じく商業徒弟の養成をやつて居るのであります。事務員になる商業徒弟と雖も其の事業の體驗がなければ本當の仕事は出來ないと云ふ意味から少くとも6ヶ月間は其の工業の體驗を工業徒弟と同じやうにさせるのであります。此外ドイツ一般の青年男女は學校を卒業した後一定期間の實習を経るにあらざるは給料生活に就くことは出來ない。普通教育を受けた者は4ケ年間、中等教育を受けた者は2ケ年間、専門學校以上の高等教育を受けた者は1ケ年間の實習生活を経なければ給料生活に入りやいかんと云ふことが決められて居る。如何に實習と云ふことに重きを置いて居るか分るのであります。

第二の基礎條件は創造力の效果的動員、即ち研究心の效果的動員であります。之は私から申すまでもなく、ドイツ程此の點が有効に發揮されて居る國はない。私は歐洲戰爭以後4回ドイツへ参りましたが、如何に國勢が衰へて居る時でも、即ち歐洲戰爭直後に行つて見ました時でも、研究機關のみは浮世の變轉を他所に研究に没頭して居た情況は未だに記憶に新しいのであります。況んや今日は政府の研究機關、學校の研究機關、民間の研究機關、何處へ行つて見ましても極めて有効な創造力の動員が行はれてそれに對して多額の金を使つて居ります。民間の中で最も大規模な研究所はイー・ゲー染料會社の研究所であります。此處には1,400人以上の博士、學士を研究にのみ没頭して居る。さうして試みに1年間の經費を聞いて見ますと5,000萬マークに達すると云ふことであります。今日の爲替で申しますと、日本の金で6,000萬圓の巨額であります。一營利會社がかかる多額の經費を支出し能く成り立つと思はれますが、凡そ新しい化學工業上の發明は殆ど全部イー・ゲー會社から出て居ると云ふことを考へまする時に、

1年に5,000萬マークの金と云ふものは決して高くつきはしないと云ふことになるのであります。

第三の基礎條件は統制の圓滑なる運用であります。此の統制の圓滑なる運用の第一要件として申し上げたいと思ひますのは、産業界に全體的な精神が能く徹底して居ることであり、一切の經營は私利私慾を基礎とせず、公益、國益を元とすると云ふ精神が極めて能く徹底して居る。3年前に参りました時には、私の友人である産業人の中には、シヤハトの統制經濟に對して不満を抱いて居る者もありましたが、今度行て見ますと、其の同一人等が前言を否定しまして、矢張ドイツの産業振興を圖る爲には現在の如き統制經濟でなければいけないと云ふことを云て居たのに依つても分るのであります。第二の要件は勞資摩擦の一掃でありまして、之に付ては色々私が話をしましたものが印刷物にも新聞記事にも載て居りますから諄々しく申し上げませんが、産業界を一つの勤勞戰線と云ふ機關に纏めて、さうして勞資間の摩擦を一掃することに成功しました。第三の要件は事業の自主性が尊重されて居ることであり、之が重大な點であります。統制強化と自主性尊重とは凡そ一致しないものであります。私の申しますのは實質的に自主性が尊重されて居ると云ふことであります。之を人的要素と組織的要素とに別けて申しますと、人的要素としては、民間の其の道の達人を經濟相、又は4ヶ年計畫部の要職に就けて居る。最も好い例は、先きに申しました通り大豆のブローカーであつたヴォルグートと云ふ人を爲替管理局長にしたこと、其の他要職に民間の實情を知て居る腕利きを据ゑて居ると云ふことであります。組織的要素と致しましては、政府が統制法を決定するに先立ち民間の縦の經濟團體、即ち中央、地方の經濟團體、横の連絡機關、即ち中央・地方の商工會議所、此兩者の幹部を集めて能く相談をし、寧ろ彼等に立案させる様にしむけて決定するのであります。之は私の觀察のみではなく、今日統制經濟の參謀本部であります4ヶ年計畫部の總務部長であるカーナーと云ふ人の話にもさうであつたのであります。

『政府は決して一方的に統制法を決定して民間にこれを強ふるやうなことはしない。何時も決定に先立て民間の縦の團體、横の團體の幹部と能く相談をしてやる、さう云ふ風にして決めたのだから、之れが實行に當ては嚴罰主義で行くのだ』と、彼等自身の代表者と相談をしてよく諒解してやつたのだから嚴罰主義で行く。其の嚴罰の方法たるや、逆も常識では判斷出來ない位に嚴酷であります。單に罰金

では大きな商賣をして居る者は1萬や2萬の金位、假令損をしても算盤の上からは大した影響がないと云ふことを覺悟の上でやる者があるかも知れんから體刑に限る。斯う云ふ行き方であり、我國の實情はどうであるかは知りませんが、若しも經濟警察其の他に依て摘發されます違反者の處罰が、唯單に中小商工業者のみに嚴重であつて、呑舟の魚を逃がすやうなことがあつたならば、何時まで経ても統制の圓滑なる遂行は難しいと思ひます。私は知て犯す者には一切の情實を排して嚴罰主義、體刑主義を以て望むべしと主張する者であります。

又カーナー氏の曰く

『政府は事業を直營する考へは毛頭ない。唯國家が必要と認めて、さうして民間が算盤の上から之に着手することを應じない場合には、國家は經濟を無視して直營とするのだ』と、其の唯一の例が先きに申しました國營ゲーリング製鐵所であります。

斯様な三つの基礎條件が私の注意を惹いたのであります。さうして國家總動員の下に新計畫の遂行に従事して居るのでありますから、計畫通りには行かないかも知れませんが、過去の成績、即ち第1次4ヶ年計畫の實績に徴しましても、恐らく計畫に近いものをやり遂げるのではないかと思ふのであります。

私は6月の4日にアメリカを通して横濱に着いたのであります。さうして横濱から自宅まで外務省の自動車に依て運ばれたのであります。其の沿道到る處に國民精神總動員と云ふポスターや立看板があるのを見まして、異様の感に打たれたのであります。私がドイツ勤勞戰線の總指揮官でありますライ博士を訪問しました時に、同氏の曰ふには『貴方は今日ドイツの勤勞戰線の組織を見に来たさうだが、何故その必要があるのか、私の方を見つて一つも日本の参考にはなるまい。日本國民は皇室を中心として何時でも結束し得る國である。自分は再來年東京のオリンピックを見に行くことになつて居るが、それは競技を見るのが主眼でなしに國民性の研究にあるのだ』と云ふことを云たので、私も衷心非常に愉快に感じたのであります。支那人の用ゐる如きピラ戦術に依て精神の作興をしなければならぬと云ふことなぞ毛頭考へてゐなかつたのであります。そんな安ばい精神の持主では日本國民はないと私は信ずる。建國の大精神は2,600年の試練を経て既に血となり肉となつて、生き生きとして現存して居るのであります。明治天皇の教育御勅語の中にも、「億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ

美ヲ濟セルハ」と仰せられましたのは我々の祖先が此の建國の精神を體して、如何なる時に於ても其の精華を發揮し來たことを仰せられたのである。又同じ御勅語の中に「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉ジ」と宣はせられましたのも、今日の如き時局に際して國民が持つべき心構へを明かにお示しになって居る。今更一片のピラやポスターで高揚する必要が何處にあるか。ドイツが僅か5ヶ年で民族精神を作興して今日の如き立派な國民性を作りあげた事と彼此對照して洵に私は感嘆に堪へなかつたのであります。

皇軍は今や千里の異境にあつて家を忘れ身を忘れて聖戰に従ひ着々として戰果を擧げて居る。

漢口の攻略も目睫の裡に迫り、南支の戰局も愈々我に有利に進展しつつありますが、假令漢口が落ちましても戰爭が終焉するものでもなく、況して今次聖戰の目的たる東洋永遠の平和を確立するには今後何程の歲月を要するか判らないと同時に、大陸經濟政策の遂行の爲めにはどれ程巨額

の資本を必要とするか判らないのであります。この資本を何處から出すのか。無論國民全般が負擔しなければならないのであるけれども、別してその大部分は産業人の双肩にかゝつて來るのであります。今後に於ける産業人の使命たるや誠に重且大なりと云はねばなりません。殊に製鐵業は一國産業の核心を爲すもので、其の盛衰が直に國運の興廢に關係するものであることは現代列強の如實に示すところであります。此に於て私が此機會に諸君に御願致しますのは先程澁澤さんからも云はれた通り、我國製鐵業振興に關し更に一段の努力と工夫とを拂はれ度いと云ふことであります。即ち2600年來の日本精神を鐵鋼界に高揚し、諸君の統率せらるゝ従業員との間の摩擦を一掃して斯業の發展を圖る。これが國家の大使命に即應して諸君の行くべき道であると信するのであります。長らく御清聽を煩し感謝致します。(了)